



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日
東

上場会社名 日産化学株式会社 上場取引所
コード番号 4021 URL <https://www.nissanchem.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八木 晋介
問合せ先責任者 (役職名) 財務部副部長 (氏名) 野村 浩司 (TEL) 03-4463-8401
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	174,832	12.6	41,080	22.9	43,326	23.6	31,708	22.1
2024年3月期第3四半期	155,334	△2.4	33,436	△13.8	35,049	△15.2	25,972	△15.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 30,498百万円(6.5%) 2024年3月期第3四半期 28,625百万円(△11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 230.27	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	186.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第3四半期	百万円 329,761	百万円 228,814	% 68.4
2024年3月期	323,458	230,952	70.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 225,638百万円 2024年3月期 227,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 —	円 銭 94.00	円 銭 164.00
2025年3月期	—	70.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	94.00	164.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,600	9.2	55,000	14.1	55,900	8.3	40,900	7.5	297.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 2社 (社名) NCアグロ函館株式会社、 除外 1社 (社名)
日本ポリテック株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	137,800,000株	2024年3月期	138,800,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,187,554株	2024年3月期	186,649株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	137,701,777株	2024年3月期3Q	139,623,948株

※当社は、2019年7月30日の取締役会決議に基づき、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。期末自己株式数に含まれる当該自己株式数は、当第3四半期連結会計期間末において、139,400株です。また、期中平均株式数から控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当第3四半期連結会計期間において、139,656株です。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算説明資料の入手方法)

2025年2月7日(金)に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。また当日開催する機関投資家・アナリスト向け電話会議の説明内容(音声、トランスクリプト)については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）の国内景気は、インバウンド需要の拡大や所得環境改善に伴う個人消費の回復、半導体需要の回復などを背景に緩やかに回復しました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品セグメントは、ファインケミカルが増収となりました。機能性材料セグメントは、半導体材料が好調に推移したのに加え、ディスプレイ材料が増収となりました。農業化学品セグメントは、増収となりました。ヘルスケアセグメントは、減収となりました。

この結果、当期間における業績は以下の通りとなり、売上高、各利益ともに前年同期及び11月に発表した計画数値を上回りました。

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	2024年3月期 第3四半期 (実績)	2025年3月期 第3四半期 (実績)	前年同期比 増減	2025年3月期 第3四半期 (計画数値) (注)	計画数値比 増減
売上高	155,334	174,832	+19,497	170,400	+4,432
営業利益	33,436	41,080	+7,644	37,700	+3,380
経常利益	35,049	43,326	+8,276	37,600	+5,726
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25,972	31,708	+5,735	27,700	+4,008

(注) 計画数値は2025年3月期第2四半期決算説明資料(2024年11月11日発表)P10に記載

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品セグメント

基礎化学品では、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）が増収となりましたが、尿素・「アドブルー®*」（高品位尿素水）や硝酸製品（金属溶解・表面処理等）が減収となりました。ファインケミカルでは、ファインオキシコール（化粧品原料等）や「テピック」（粉体塗料硬化剤、封止材材料等）が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は281億3百万円（前年同期比5億55百万円増）、営業利益は66百万円（同2億17百万円減）となりました。計画数値(注)比では、売上高は1億円の下ぶれ、営業利益は3億円の上ぶれとなりました。

* アドブルー®はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

(注) 計画数値は2025年3月期第2四半期決算説明資料(2024年11月11日発表)P21に記載

機能性材料セグメント

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶配向材用ポリイミド）が増収となりました。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC®*）及び多層材料（OptiStack®*）が顧客の稼働回復を受けて増収となりました。無機コロイドでは、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）やオルガノシリカゾル・モノマーゾル（各種コート剤、樹脂添加剤）が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は741億94百万円（前年同期比122億57百万円増）、営業利益は222億64百万円（同48億50百万円増）となりました。計画数値(注)比では、売上高は11億円、営業利益は6億円の上ぶれとなりました。

* ARC®, OptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

(注) 計画数値は2025年3月期第2四半期決算説明資料(2024年11月11日発表)P21に記載

農業化学品セグメント

フルララネル（動物用医薬品原薬）は増収となりました。国内向け農薬は、「グレーシア」（殺虫剤）や「アルテア」（水稻用除草剤）が増収となりました。海外向け農薬は、「ライメイ」（殺菌剤）や「グレーシア」が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は537億89百万円（前年同期比53億31百万円増）、営業利益は179億4百万円（同33億94百万円増）となりました。計画数値(注)比では、売上高は21億円、営業利益は13億円の上ぶれとなりました。

(注) 計画数値は2025年3月期第2四半期決算説明資料(2024年11月11日発表)P21に記載

ヘルスケアセグメント

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬は減収となりました。「ファインテック」（課題解決型受託事業）は増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は44億25百万円（前年同期比4億14百万円減）、営業利益は16億18百万円（同6億59百万円減）となりました。計画数値(注)比では、売上高、営業利益ともに計画通りとなりました。

(注) 計画数値は2025年3月期第2四半期決算説明資料(2024年11月11日発表)P21に記載

卸売セグメント

当セグメントの売上高は870億61百万円（前年同期比99億99百万円増）、営業利益は31億49百万円（同3億7百万円増）となりました。計画数値(注)比では、売上高は21億円、営業利益は2億円の上ぶれとなりました。

(注) 計画数値は2025年3月期第2四半期決算説明資料(2024年11月11日発表)P62, 63に記載

その他のセグメント

当セグメントの売上高は208億63百万円（前年同期比25億33百万円増）、営業利益は1億34百万円（同1億78百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権が減少しましたが、棚卸資産と現預金が増加したことにより、前連結会計年度末比63億2百万円増の3,297億61百万円となりました。

負債も社債とコマーシャルペーパーが増加したことなどから、前連結会計年度末比84億41百万円増の1,009億46百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比21億38百万円減の2,288億14百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.9ポイント減少し、68.4%になりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、473億38百万円の収入（前年同期は336億78百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、133億49百万円の支出（前年同期は119億20百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払、自己株式の取得による支出などにより、273億49百万円の支出（前年同期は258億99百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額の減少額1億92百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して64億47百万円増加しており、これに新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減額17百万円を加味した結果、292億2百万円（前年同期は256億83百万円）となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想に関しましては、第3四半期連結累計期間及び足元での需要予測をもとに、前回発表予想数値を以下の通り修正いたしました。第4四半期の為替については、1米ドル150円を前提としております。

2025年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：億円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績
売上高	2,450	2,476	+26	1.1%	2,267
営業利益	530	550	+20	3.8%	482
経常利益	532	559	+27	5.1%	516
親会社株主に帰属する 当期純利益	394	409	+15	3.8%	380
1株当たり 当期純利益	285円94銭	297円25銭	+11円31銭	4.0%	272円82銭

2025年3月期 通期セグメント別連結売上高及び営業利益予想数値の修正

(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想	今回発表予想
化学品	385	385	1	1
機能性材料	974	974	283	283
農業化学品	863	863	257	257
ヘルスケア	62	62	23	23
卸売	1,124	1,124	37	37
その他	291	291	8	8
調整額	△1,249	△1,223	△79	△59
計	2,450	2,476	530	550

(4)利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。

なお、2022年4月に始動した中期経営計画「Vista2027」のStage Iでは、2022年度以降は配当性向を55%、総還元性向を75%とすることを目標としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,738	29,202
受取手形、売掛金及び契約資産	88,800	73,010
商品及び製品	56,804	65,885
仕掛品	5	290
原材料及び貯蔵品	21,370	24,414
未収入金	2,956	1,605
短期貸付金	2,152	1,843
その他	7,189	9,180
貸倒引当金	△48	△58
流動資産合計	201,968	205,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	85,860	88,664
減価償却累計額及び減損損失累計額	△50,898	△53,386
建物及び構築物（純額）	34,962	35,278
機械装置及び運搬具	170,309	176,081
減価償却累計額及び減損損失累計額	△145,729	△152,510
機械装置及び運搬具（純額）	24,579	23,570
工具、器具及び備品	44,084	45,361
減価償却累計額及び減損損失累計額	△39,457	△41,113
工具、器具及び備品（純額）	4,626	4,247
土地	9,064	9,051
リース資産	160	143
減価償却累計額	△24	△25
リース資産（純額）	135	117
建設仮勘定	4,004	5,584
有形固定資産合計	77,372	77,850
無形固定資産		
ソフトウェア	2,444	2,834
その他	8,302	10,214
無形固定資産合計	10,747	13,049
投資その他の資産		
投資有価証券	26,119	25,403
長期貸付金	50	136
繰延税金資産	519	665
退職給付に係る資産	3,737	3,729
その他	3,054	3,663
貸倒引当金	△111	△110
投資その他の資産合計	33,370	33,487
固定資産合計	121,489	124,386
資産合計	323,458	329,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,427	23,738
短期借入金	39,062	24,829
コマーシャル・ペーパー	—	10,997
1年内返済予定の長期借入金	634	574
未払法人税等	4,940	5,087
賞与引当金	2,548	856
関係会社事業損失引当金	310	54
事業構造改善引当金	2	—
その他	18,638	18,400
流動負債合計	86,563	84,538
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	1,284	1,253
繰延税金負債	1,381	1,789
関係会社事業損失引当金	143	159
役員株式給付引当金	272	254
退職給付に係る負債	467	548
その他	2,392	2,401
固定負債合計	5,941	16,407
負債合計	92,505	100,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	182,376	186,668
自己株式	△943	△6,164
株主資本合計	213,989	213,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,238	7,694
為替換算調整勘定	4,226	3,923
退職給付に係る調整累計額	1,066	959
その他の包括利益累計額合計	13,531	12,578
非支配株主持分	3,432	3,175
純資産合計	230,952	228,814
負債純資産合計	323,458	329,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	155,334	174,832
売上原価	80,611	90,426
売上総利益	74,723	84,406
販売費及び一般管理費	41,287	43,325
営業利益	33,436	41,080
営業外収益		
受取利息	115	170
受取配当金	622	1,078
持分法による投資利益	497	469
為替差益	1,078	952
その他	576	1,116
営業外収益合計	2,889	3,787
営業外費用		
支払利息	378	490
固定資産処分損	666	511
社債発行費	—	54
休止損	68	249
その他	161	235
営業外費用合計	1,275	1,541
経常利益	35,049	43,326
特別利益		
条件付対価受入益	—	821
投資有価証券売却益	603	—
特別利益合計	603	821
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	35,653	44,148
法人税、住民税及び事業税	8,597	11,762
法人税等調整額	999	592
法人税等合計	9,596	12,355
四半期純利益	26,056	31,792
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	83
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,972	31,708

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	26,056	31,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	882	△542
為替換算調整勘定	1,702	△643
退職給付に係る調整額	△16	△107
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	2,569	△1,293
四半期包括利益	28,625	30,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,362	30,755
非支配株主に係る四半期包括利益	263	△256

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期 間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期 間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	35,653	44,148
減価償却費	9,415	10,079
条件付対価受入益	—	△821
のれん償却額	76	24
受取利息及び受取配当金	△737	△1,249
投資有価証券売却損益 (△は益)	△603	—
支払利息	378	490
固定資産処分損益 (△は益)	666	511
売上債権の増減額 (△は増加)	19,469	16,343
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,442	△12,088
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,765	2,432
その他	276	△2,896
小計	47,919	56,973
利息及び配当金の受取額	1,617	2,450
利息の支払額	△373	△482
法人税等の支払額	△15,484	△11,602
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,678	47,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△100	△119
投資有価証券の売却による収入	788	1
子会社株式の取得による支出	△10	—
子会社株式の売却による収入	—	276
有形固定資産の取得による支出	△12,779	△10,892
有形固定資産の除却による支出	△586	△475
無形固定資産の取得による支出	△1,251	△1,753
条件付対価の決済による収入	—	2,633
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	2,110	408
長期前払費用の取得による支出	△203	△645
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,921
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	93	—
その他	18	137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,920	△13,349
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,392	△15,338
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	10,993
長期借入金の返済による支出	△312	△317
社債の発行による収入	—	10,000
配当金の支払額	△22,973	△22,681
自己株式の取得による支出	△5,818	△10,000
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△4,187	—
その他	△0	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,899	△27,349
現金及び現金同等物に係る換算差額	176	△192
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,964	6,447
現金及び現金同等物の期首残高	29,647	22,738
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	17
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,683	29,202

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月30日の取締役会にて決議された「株式給付信託(BBT)」において、2024年4月25日付で対象者へ4,600株の株式給付を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が22百万円減少しております。また、2024年5月13日および2024年5月28日の取締役会決議に基づき、2,005,300株の自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が9,999百万円増加しております。

また、2024年8月27日の取締役会決議に基づき、2024年9月9日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金が4,757百万円、自己株式が4,757百万円減少しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、繰延税金負債が49百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前連結会計年度の期首の利益剰余金は49百万円増加しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	ヘルス ケア 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高(注)1	18,285	49,646	38,118	4,782	57,708	7,316	175,857	△20,523	155,334
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,262	12,291	10,339	57	19,353	11,014	62,317	△62,317	—
計	27,547	61,937	48,458	4,839	77,062	18,330	238,175	△82,840	155,334
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	283	17,414	14,509	2,277	2,841	△43	37,283	△3,847	33,436

(注) 1. 報告セグメントの外部顧客に対する売上高は、代理人取引となる売上高についても総額で算定しております。代理人取引となる売上高を純額とするための調整は、調整額に含めております。

2. 調整額は以下のとおりです。

(1)外部顧客に対する売上高の調整額△20,523百万円には、代理人取引消去△20,540百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高17百万円が含まれております。

(2)セグメント利益の調整額△3,847百万円には、セグメント間取引消去254百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△4,121百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	ヘルス ケア 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高(注)1	18,669	55,088	42,390	4,332	66,586	7,137	194,206	△19,374	174,832
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,433	19,105	11,398	92	20,474	13,726	74,231	△74,231	—
計	28,103	74,194	53,789	4,425	87,061	20,863	268,437	△93,605	174,832
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	66	22,264	17,904	1,618	3,149	134	45,137	△4,057	41,080

(注) 1. 報告セグメントの外部顧客に対する売上高は、代理人取引となる売上高についても総額で算定しております。代理人取引となる売上高を純額とするための調整は、調整額に含めております。

2. 調整額は以下のとおりです。

(1)外部顧客に対する売上高の調整額△19,374百万円には、代理人取引消去△19,593百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高219百万円が含まれております。

(2)セグメント利益の調整額△4,057百万円には、セグメント間取引消去△326百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高220百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△3,951百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。